



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3195回例会・2018年4月18日

## 本日のプログラム

ゲスト卓話「新北見市史発刊に向けて」

北見市総務部市史編纂主幹 斉藤 幸喜 様

2017~2018年度国際ロータリーテーマ

## 『ロータリー:変化をもたらす』

R. I. 会長 イアン H.S. ライズリー

### 第3194回例会(4月11日)の記録

**司会** 岸本親睦活動委員長

**ロータリーソング** 我等の生業

**会長挨拶** 舟山会長

今日はこの後IMについてのこれまでの実行委員会の動きと、28日当日に向けての皆様へのお願い・確認事項という事で、実行委員会の下元実行幹事からお話させて頂くという時間に致します。

**経過報告** IM実行委員会 下元実行幹事

4月28日(土)北見RCがホストクラブとしてIMが開催されます。2月からIM実行委員会として5回の実行委員会を行ってきましたが、ホストクラブとしての特性上、北見RC全員でIMに対してお出迎えと当日の各協力等のお願いをしていかなければならないという事でございます。本日皆様に、IMに対しての組織図、プログラム、スケジュール表をお渡し致しました。その資料の中の組織図ですが、勝手ながら皆様のお名前を各部会の方に割り振りさせて頂きました。この中に部会が4つあり、総務、事業、懇親、救護班という形になっております。皆様方におかれましては、当日の対応という形でお手伝いを頂きたいと思っております。

もう一点ですが、IMというのはこの2500地区第5分区の中で9クラブが北見に集まり、それぞれの諸問題等の会議や懇親を行います。暫定ですが284名の出席となっておりますので、北見RCとしては出来るだけ多くのお手伝いとホストとしてのしっかりとした対応をお願いいたたく存じます。

**次年度幹事報告** 高野次年度幹事

1. 次年度委員会名簿の変更があります。クラブ会報・広報・雑誌委員会ですが、大野会員の転勤により、委員長に小山会員、副委員長に細野会員、委員に松島会員となります。
2. 4月21日(土)、22日(日)に帯広で開催されますPETS地区研修協議会ですが、当クラブより15名が出席致します。参加される方は車での移動となりますので安全運転でお願い致します。

**委員会報告**

**IM実行委員会 下元実行幹事**

本日の例会終了後に第6回目のIM実行委員会を開催致します。

**親睦活動委員会 岸本委員長**

本日4RC麻雀大会を17時受付、18時開始でホテル黒部にて開催致します。



## プログラム

ゲスト卓話 「「カッコいい」生き方とは—「らしさ」を超えて」

国立大学法人北見工業大学准教授 春木 有亮 様



哲学の中でも「美学」という細かいジャンルがあるのですが、それを特に専攻しております。美しいとはどういう事かを問うという事で、広くは「感じる」という事です。理詰めで考える事というのが人間の特性だと2500年前のギリシャの時代から西洋の思想で言いますと、アリストテレスという哲学者は「人間とは理性的な動物だ」と定義しました。「感じる」という人間の働きは、生きる事と密接に繋がっているという理念があって美学が出来ました。エピソードを紹介すると、コーヒー裁判というのがヨーロッパで1600年の時代にありました。当時のローマ教皇が、コーヒーというのはキリスト協会にとっては異教であるイスラム教徒の飲み物でありました。ヨーロッパというのは、私達はコーヒーといえば西洋のイメージがありますが、ヨーロッパに広まるのは1600年代の事で、それまではイスラム教圏内で主に飲まれていました。それだけではなく、コーヒーは黒い水という事で、異教であるイスラム教徒の悪魔の飲み物、つまりネガティブなイメージを持たれていました。コーヒー裁判というのは、コーヒーを断罪し排除してしまうという機運が高まった時に当時の教皇は裁判官的な役目を務めて、その時「コーヒーは飲んだ事はないが、一応断罪するからにはどのような物か味わっておこうか」という事で一口教皇が飲んだ時に、意外にも美味しいとなってしまいました。そこでキリスト協会が悪魔性を除去して、公式に飲んでよいとしようではないか、と逆に公認してしまいました。ここから言えるのは、感じる事が、しめしがつかないという制御を超えて、美味しいと感じる方へとつられて引っ張られていきます。その後、地動説の発見やフランス革命に代表される市民革命等が起こって、ついには王政が転覆してしまい個人の時代が来ます。個人の時代が来た時に当時の人達は、より感じることを追及する意味を見出しました。では、今の我々の「カッコいい」という感じ方とはどうか。どうも2010年位からやたらと「カッコいい」という事が打ち出されています。普段あまりカッコいいと言わない物をあえてカッコいいと言う事を分析すれば「カッコいい」の特質が出て来るだろうと思いました。これぞという新しい物を打ち出し、今まで無かった物やっていたのけた事によって、らしくない事を経過して事後的にこれこそが「らしさの展開」となります。別の言い方をすれば、規範やモデルを己がそれを体現するというあり方だと思えます。

「カッコいい」の語源を辿れば、「格好」と「良い」の複合語です。「格好」はあたかも良し、ピッタリきているという意味があります。それに「良い」が付いています。要は、凄くふさわしいという良さを強調した意味を持っています。



**出席報告** 高野出席委員長

3月の平均出席率は82.817%でした。

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メイクアップ	事後メイクアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
確定	3/28	56	7	45	5	1	1	47	87.037%
本日	4/11	54	7	37	4	2	-	39	76.471%

【次回4月25日】 ゲスト卓話「北見からオホーツクを発信する」

オホバン代表兼オホタ編集長 佐久間 茜華 様

**編集後記** IM・PETSとイベントが続きますが、体調に気をつけて乗り切りましょう。

(Y.U)

ロータリーの雑誌月間とは

毎年4月は雑誌月間に指定され、クラブはその月間中に雑誌に関するプログラムを実施することになっています。日本のロータリーでは現在「ロータリーの友」がRIで認められ、唯一の公式地域雑誌となっております。

2017~2018年度 北見R.C.活動方針

## 楽しく学び、楽しく実践しよう

2017~2018年度 北見RC

●会長/舟山秀太郎

●幹事/岡村 金司

●週報編集/長屋 憲明